

令和7年度 第3回瑞浪市男女共同参画社会推進会議要旨

日 時:令和7年9月6日(土) 15時40分~16時30分

会 場:瑞浪市総合文化センター 3階講堂

出席者(敬称略):渋谷典子、深津隆、小木曾千恵子、浅沼克郎、野田順子、中山千鶴、

後藤宮樹、山下千尋、大竹悦子、渡邊実千代、安藤瑞扇、山内賢人

鈴木実千江、鈴木勝、安藤友美、渡邊喜美代、宇井壮五

(欠席:鈴木勝)

〈事務局〉市民協働課長 奥谷ひとみ

市民協働課人権啓発係 三浦和恵、河合清志

議 事: (1)令和7年度瑞浪市男女共同参画市民講演会の振り返りについて

(2)令和8年度瑞浪市男女共同参画市民講演会について

(3)今後のスケジュールについて

(4)その他

内容

(進行:事務局)

1. 瑞浪市男女共同参画社会推進会議 座長あいさつ

(座長)皆さん、お疲れ様でした。そしてありがとうございます。市民講演会の実施は推進会議メンバーの皆様お一人お一人のお力がなければ開催することができませんでしたし、地域の方が主体となり行う講演会や活動を行っていることに敬意を表します。

これから会議は、本日の振り返りと、来年度のことも視野に入れ、話を進めていきたいと思います。どうぞよろしくお願ひします

2. 議事

(1) 令和7年度瑞浪市男女共同参画市民講演会の振り返りについて

(2) 令和8年度瑞浪市男女共同参画市民講演会について

(座長)議事1、2について、事務局から説明願います。

(事務局) (資料に基づき説明)

(座長)本日の講演会は、どうでしたか。マイクを回しますので、感想、ご意見等、一言ずつお願ひします。

(参加者)本日の講演会は、目的のある人にとっては、頭の中を整理し次の段階にいくためにもよい内容だったと思います。自分の人生をこれからどうしようかなと考える時期であったため、頭の整理ができた、とてもよい機会となりました。自分の人生をこれからどうしていこうかと常に考えることは、なかなかできません。自分のことを考えることができる人生はいいなと思いますし、そういう機会はすごく必要であると思いますので、本日のワークを使っての講演会はすごくいい話だったと思います。何か迷っている人にとっては、とてもためになる内容だったと思います。講演会に目的がなくみえた方も、これからどうしようか考えていないかった方も、今後どうしたらいいか考えることは大切であると、気づいてもらえたのではないかと思います。

(参加者)よかったです、参加者の方に、普段なかなかとれない自分と向き合う時間を提供できました。自分が自分の人生の主人公であると感じる市民が増えることが、男女共同参画の基本であるということは理解できました。ただ、テーマである男女共同参画の推進と本日の講演会の内容の繋がりが分かりにくく感じました。内容が都会の人の考え方だと感じました。瑞浪に住んでいると、地域での事業が発生し、この地域に住んでいる以上、やらなければいけないことがあります。やりたくないからやらないということを選択させることは、地域に参画しないということになってしまいます。それが地域に密着しなくても生活していく人の人ならいいが、田舎の人はそういう

わけにはいかないことがあると思いました。瑞浪バージョンで話が聞けるとよかったです。役割を演じることから、自分の生き方を選択する方法を提案していたが、それがいいことなのか自分ではわからなかつた部分がありました。自分で選択し結婚する、自分で選択し子どもを持つ、そして、自分の人生が作られていく。夫であり父であることも自分の人生として責任を果たしていると思うので、そのあたりが腑に落ちなかつたところです。ワークについて、ワークシート2でワークとライフとケアのバランスが分かり、ケアが多い人はこうしたらどうかとの解決方法の提案まであると、参加者の方の満足度が高まつたのではないかと感じました。

(参加者) 今回は改めて自分自身を見つめ直す機会となり、本当にしたいことはあるのかと考えさせられました。日々、色々な忙しさに流され、本当はしたくないこともしていかなければいけない状況ですが、自分の本当にしたいことは何かと考えた時に、旅行が頭に浮かびました。しかし、本当にしたければ、もっと計画的に進めるが、無計画のまま流されているという状況です。これではいけないと、改めて自分の生活設計を考える必要があると感じました。夫婦で考えていきたいです。

(参加者) 前回は防災関係の話でしたが、あまり被災の経験もないで、そういう状況を知つて、自分だったら何ができるのか、男性としてどんなことが担えるのかをあてはめて考えたが、今回は、自分からスタートして、どう変えていけるかという内容だったため、具体的に考えることができる内容であり、自分を見つめ直すきっかけとなりました。それが実現できなくとも、肩の力が抜け、誰かのせいにしていたことが、こういうふうに変えることができるんだと、考えるきっかけとなり、充実した時間となりました。自分を自分らしく生きることが、どのように男女共同参画に結びつくのか感じていたが、結びつく人、結びつかない人がいたとは思いますが、女性だけどこんなことがしたい、男性だけどこんなことがしたいと、見つめることができたことは、結びつきができていたのかなと感じたのでよかったです。ワークシート2(4)にある「ワーク」「ケアワーク」「ライフ」の説明があると、もっと落とし込めたのかなと思いました。

(参加者) 自分らしく生きることを、今まであまり考えたことがなかつたです。「自分らしく生きることを自分を大切に生きることだと置き換えてみると、その日が終わればいいというように、一日一日を過ごしてしまうことはもったいないと感じました。惰性で生きるのではなく、自分を見つめ直す、将来どうありたいのかを考えることが、男女共同参画のスタートに立てるところかなと思いました。話を聞くだけではなく、作業があったことはよかったです、年代によっては、少し作業の内容が難しかつたのではと感じました。自分らしく生きるために、自分自身を理解することが大切であり、自分の資質や能力を含め把握した上で、自分の将来像を描くことができました。

開催時期ですが、温暖化でとても暑くなっていますし、台風が一番多い季節であるため、9月は避けた方がいいと思います。

(参加者) 毎日、目白押しの一日を過ごしているが、なぜこんなに忙しい生活をしているのだろうと、人のせいにして生活していたが、人のせいにしない人生設計を一からやり直したいと感じました。

(参加者) 毎日を忙しく過ごしているが、今日、時間のスケジュールを作つてみると、思ったより自分の時間があり、自分の時間が取れていますことが分かりました。したいこと、したくないがやっていることが再確認できたことも良かったです。この先家庭の状況も変わっていくので、その時、その時で設計を見直そうと思いました。今日はいろいろなことが見直しできたので、私にとってはよかったです。

(参加者) 今日のような話はなかなか聞くことができないし、普段の一つ一つの行動を見直しすることが大切だと教えていただいたことは、参加された方も、ためになつたのではないかと思います。ただワークシートについては、個人差もあり、難しいと感じました。大きなテーマであなたの行動を書くというのは、難しかつたです。行動を確認し、分析することは、自分を見つめるきっかけとなりよかったです。

日時は9月から10月は稻刈りシーズンであるため、配慮した方がいいと感じました。

(参加者)自分の人生を振り返ることができました。10年前仕事をやめてから、いろいろなことがあり、家族構成もかわりました。今は自分のしたいことができる人生が送れていると感じています。

(参加者)私がしたくてもできないことは読書。理由は眠いと書きました。また、旅行がしたいと思っていてもなかなか休みを取ることができない。できない理由を人のせいにしてしまっているが、社会的制約もある中で、できないなら仕方ないと思うこともそれが人生だと思います。先生のプロフィールに、「専業主婦時代、育児に自信を失い受講したコミュニケーション講座で女性の自立や自己実現に关心を持った」とあるが、具体的にどういうことに感銘を受けられたのかを聞けるとよかったです。

(参加者)講演会というと、話を聞くだけだと思われるが、本日は、自分を考える時間を与えてください、自分を見つめ直すきっかけとなつたため、感謝しています。今は犬の介護があり、外出したり、睡眠の時間も限られた生活を送っています。先生がおっしゃっていましたが、自分からいろいろ発信しないと、いろいろな意見が聞けないし、どういった方法があるのかもわからないままであるが、発信することで、いい意見を聞くことができたり、いい方法を教えていただくこともでき、勉強になることもあります。自分が大変な時は、助けを求めるのも大事だと感じました。

(参加者)年齢に関係なく聞ける話だったためよかったです。何年か前の講演会では、ちょっと年齢に合っていなかったと思う時もありましたが、今回は、参加した皆さんのが自分を見つめ直す機会となつたことはよかったですと感じました。自分としても、言葉にしたり、紙に書くことで、このようにすると実行できるようになるかもと思えたことがよかったです。

(参加者)本日の講演会はほとんどワークだったため、参加された方の中には「えっ」と思われた方もみえたかもしれないが、内容は自分の生活や人生を振り返るきっかけになるようなものだったので、満足して帰られたのではないかと思いました。

(参加者)今まであまり計画も立てず、目の前のことを行つて生活してきました。自分の時間をマネジメントすることは苦痛で、自分がわからないと感じました。結婚して、夫のため、子どものため、誰かのために生きてきた人生をこれも人生と思わないと、自分の人生が否定されてしまうまでは言わないが、そういう思いも含め、ワークシートを記入しました。現状に満足することなく、何気なくやっていたことに対する気持ちを考えたり、一日の時間の使い方から、自分の大切にしていることは何かを整理したり、今後どうしていきたいかを考えるいい機会となりました。参加された方も何か参考になることを持ち帰られたと思います。

(参加者)今まで、自分らしく生きることを考えることはなかったです。3月で仕事をやめ、4月からはやりたくないことはやらないと決めて生活してきました。しかし話を聞き、やりたくないこともやつたほうがいいのではと思いました。日々、自分のペースで動くことができず、ワークかケアワークか分からぬ日常を過ごしているが、今後の生活を考えていきたいと思いました。

(座長)今日のワークで使用したシートを持ち帰ってくださった方がいると聞きました。何名くらいの方が持ち帰られたか報告してください。

(事務局)4名ほどです。家族の方やお友達とやりたいということで、持ち帰られました。

(座長)講演会だけではなく、帰られてからもお話ししたいということで、周りに伝えていただけることが、この講演会の評価に繋がるのかなと思いました。

(座長)先ほど事務局から説明がありましたとおり、みなさんのご意見や次年度の講演会に向けてのアンケートを踏まえ、事務局と相談しながら、講演内容及び講師候補者を絞りたいと思います。来年度の市民講演会のアンケートはいつまでに出せばいいでしょうか。

(事務局)アンケートは9月中に提出をお願いします。

(座長)山下さんがおっしゃった、地域で進める男女共同参画の視点はすごく大事なことです。地域の中でやらなければいけないことがある中で、都会と地域の違いもあり、なかなか女性が男性も含め、地域に根付いていくことができるかが、キーポイントとなってきます。それをどうやって洗い出

していくのか、それをやらなくてはいけないが、楽しくやるのか、義務的にやるのかということを国でも考えているところです。私もそれを考えていきたいと思っています。ありがとうございました。

(座長)質問がなければ、議事1、2は承認されたこととしますがよろしいでしょうか。

＜間＞

(座長)ご質問がないようですので、議事1、2は承認されました。

(3)今後のスケジュールについて

■第4回推進会議

日時:令和8年2月ごろの予定

内容:令和7年度の活動報告、令和8年度の活動計画

講演会内容・開催日(予定)の決定

(座長)議事3について、事務局から説明願います。

(事務局) (レジュメに沿って説明)

(座長)何かご質問はありますか。

＜間＞

(座長)他にご質問がないようですので、議事3は承認されました。

これで議事が終了しましたので、事務局に進行をお返します。ありがとうございました。

(事務局)スムーズな信仰をありがとうございました。それでは、これを持ちまして、令和7年度第3回瑞浪市男女共同参画社会推進会議を閉会します。長時間にわたり、お疲れ様でした。本日はありがとうございました。

《閉会》